

# 井口卓人 全日本を制覇する！

## 2005全日本KART選手権チャンピオンに輝く

2005年10月23日、岐阜県瑞浪レイクウェイで行われた「全日本KART選手権 東西統一戦」において自動車科3年2組井口卓人（柳南中出身）が2005全日本KART選手権チャンピオンを獲得しました。東西統一選へ出場したマシンは21台です。

「岐阜県瑞浪レイクウェイ」コースは一周が1km弱、予選が16周・決勝が24周の距離を走り、レーサーを夢見る若者たちの熱き戦いが開催されました。4月から予選ラウンドはスタートしました。第1戦「鈴鹿」から始まり、第2戦「中山」、第3戦「つま恋」、第4戦「琵琶湖」、第5戦「猪名川」と続いた大会を、井口は好成績で通過し、全日本東西統一選での舞台を整えていたのです。最高のポールポジションを獲得した井口は2005年10月23日、万感の思いを抱き、長年の夢であった東西統一選に参戦しました。小学6年から始めたカート、でもここまでの道のりは必ずしも平坦ではなかったのですが、2004年九州ではトップクラスの「中九州シリーズPCRクラス」で優勝し、ゴーカートの世界に彗星のごとく現れ、確かな上昇気流に乗りました。レーサーを夢見て全日本選手権西ブロック大会に参戦し出した井口は、2005年9月兵庫県の「猪名川サーキット」で開催された西ブロック最終戦の第5戦で優勝し、東西統一選に参戦したのでした。

そこで壮絶なドラマを見る事が出来たのです。『ポールをとった東の「野尻」がスタートを決める。が、先頭集団に西の「増田」東の「李」西の「井口」西の「中山」西の「津田」東の「梅垣」が激しく追い上げる。ドラマ

は5週目から始まった。まず、「梅垣」がエンジントラブルによりリタイヤ。一度下がった「野尻」が周ごとに順位を上げ、中盤すぎにト

ップに立つ。15週目、2位争いをする「増田」、「李」の二人がストレージ・エンド先で接触し共にリタイヤ。2位3位が一気に消え、「野尻」と後続の差が少し離れたかに見えたが「中山」、「井口」が激しく追いつき、三台のマシンの争いとなる。ピタリと「野尻」をマークし、激しく追い上げた「井口」だったが、このレースの最後は「野尻」が退けチェッカーを受ける。二位は「中山」、三位に「井口」が滑り込む。レース成績はランキングポイント制になっていて、予選リーグからの好成績が功を奏し、**2005年度九州からは初めての総合優勝「全日本チャンピオン」が誕生したのでした。**これはカートレース始まって以来の快挙です。また、「井口」はトヨタが主催する「フォミラートヨタ」の最終選考にも残り、いよいよF1レーサーへの道が近くなりました。『おめでとう！井口卓人』。敬称略



二〇〇五年度チャンピオン

総合優勝

十月東西統一選

九月「猪名川」

優勝

七月「琵琶湖」

四位

六月「つま恋」

二位

五月「中山」

六位

四月「鈴鹿」

二位

予選リーグ成績

「ツクネーム」タクティ

「血液型」A型

「体重」60kg

「身長」166cm

Team C O B

「所属チーム」

国際C級ライセンス

井口卓人 柳南中出身

夢はF1